

週間市場レポート (2019年9月30日～10月4日)

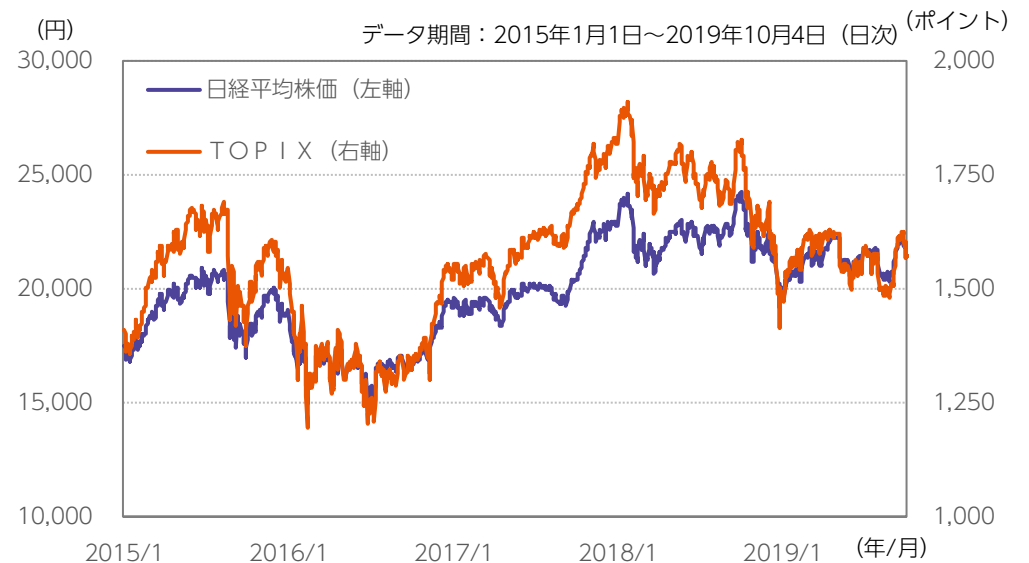
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2019/9/27	先週末 2019/10/4	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		21,878.90	21,410.20	▲ 2.14 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,604.25	1,572.90	▲ 1.95 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		26,820.25	26,573.72	▲ 0.92 ↓
S&P500種指数		2,961.79	2,952.01	▲ 0.33 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,545.88	3,446.71	▲ 2.80 ↓
S&P/ASX300指数		6,675.64	6,482.25	▲ 2.90 ↓
上海総合指数		2,932.17	2,905.19	▲ 0.92 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		767.35	764.11	▲ 0.42 ↓
東証REIT指数		2180.25	2201.83	0.99 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		784.39	787.87	0.44 ↑
ASX300 REIT 指数		1601.90	1594.60	▲ 0.46 ↓
グローバルREIT (除く日本)※		199.93	200.24	0.15 ↑
日本10年国債 (%)		▲ 0.24	▲ 0.21	0.02 ↑
米国10年国債 (%)		1.68	1.53	▲ 0.15 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.57	▲ 0.59	▲ 0.01 ↓
英国10年国債 (%)		0.50	0.44	▲ 0.06 ↓
ドル/円		107.92	106.94	▲ 0.91 ↓
ユーロ/円		118.11	117.39	▲ 0.61 ↓
英ポンド/円		132.63	131.89	▲ 0.56 ↓
豪ドル/円		73.01	72.39	▲ 0.86 ↓
フィラデルフィア半導体指数		1542.87	1574.39	2.04 ↑
WTI原油先物 (ドル)		55.91	52.81	▲ 5.54 ↓
CRB指数		175.72	173.49	▲ 1.26 ↓
アレリアンMLP指数		1,183.22	1,173.71	▲ 0.80 ↓

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。香港における大規模デモの再発などを受け、週初は下落してスタートしました。その後は米中貿易摩擦の懸念後退から3営業日ぶりに反発したものの、軟調な米経済指標や世界貿易機関（WTO）による米国の欧州連合（EU）への報復関税措置の承認等を受けた世界経済の悪化懸念から3日（木）は大幅に下落しました。週末は、日銀による上場投資信託（ETF）買い入れ観測から前日比で小幅に上昇したものの、週間では前週末比で下落となりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。財務省が1日（火）に実施した10年国債の入札が投資家の需要の弱さを示す結果と受け止められたことから、売りが優勢となりました（利回りは上昇）。週末は、日本銀行の金利誘導目標の下限（-0.2%程度）を下回って取引を終えました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に下落となりました。軟調な米経済指標等を受け週央まで下落となりました。翌週の米中閣僚級通商協議への期待感等から週央以降は上昇基調となったものの、週間では小幅に下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。軟調な米経済指標を受けた米景気の先行き懸念や世界的な株安などから、相対的に安全資産とされる円は買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週は、米供給管理協会が公表したISM製造業景況感指数が活動の拡大と縮小の境目となる50を2ヵ月連続で下回ったことなどを受け、株式市場は下落となりました。

今週は、10日（木）に米中の閣僚級通商協議を控え、様子見ムードの高まりから投資家の積極的な売買は控えられ、方向感が出にくい展開となるとみられます。ただし、米中閣僚級通商協議において進展が見られれば、株式市場は上昇するものと思われる。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>